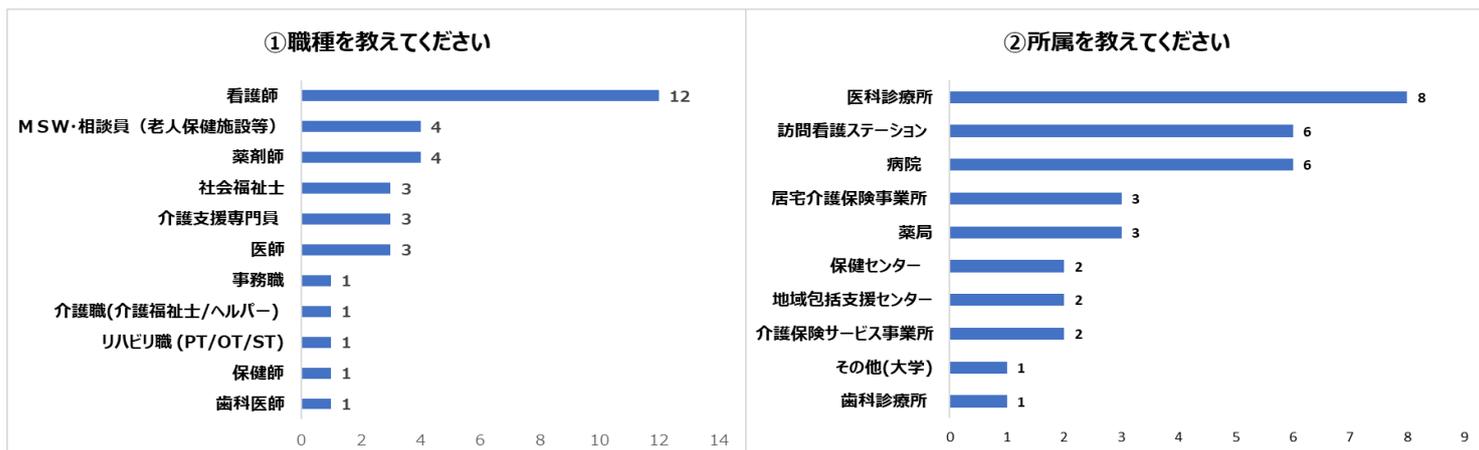


令和6年度 西区多職種研修会「ACPの実際」アンケート集計結果

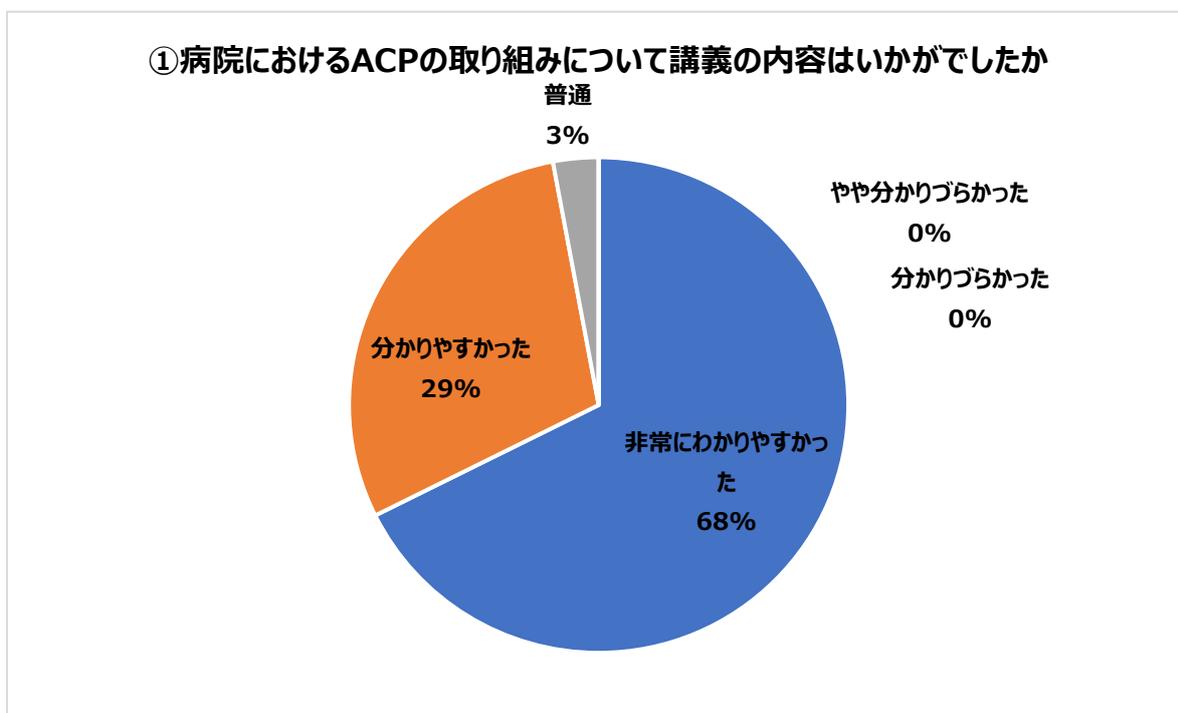
・開催日 2024年12月18日(水) 14時00分～16時05分

・アンケート回収率 100%(参加者34名中34名回答)

問1. ご自身について



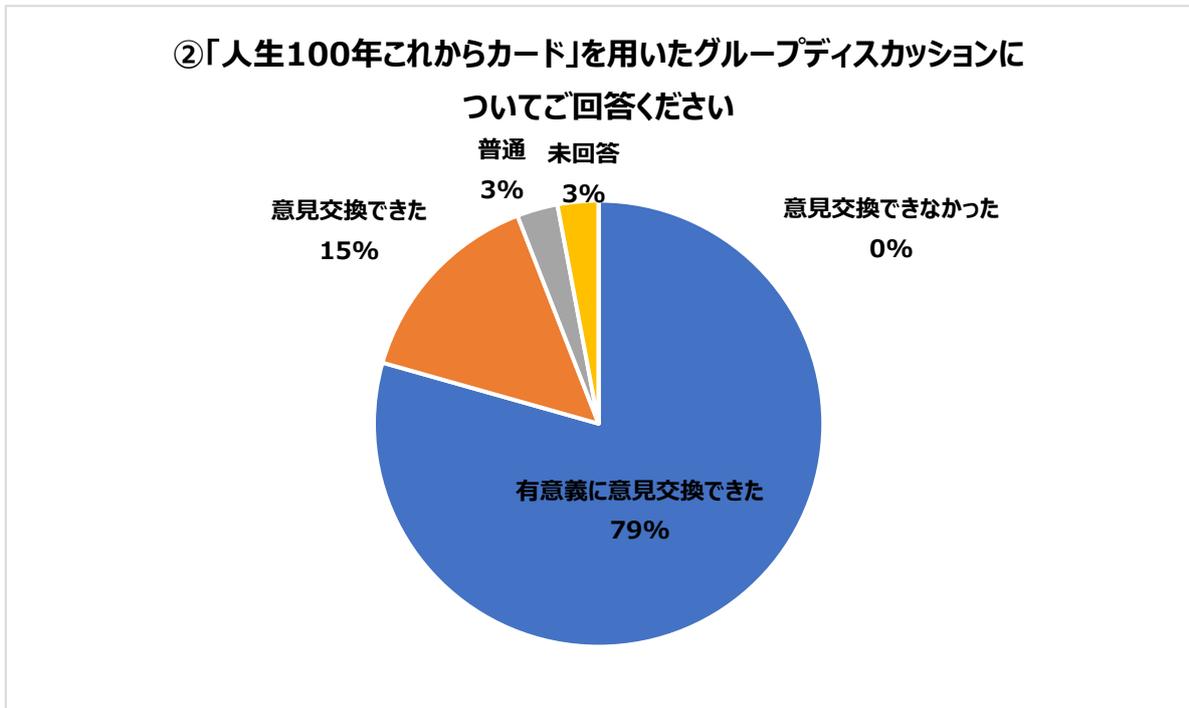
問2. 「ACPの実際：きっかけをつなぐ」について



【感想(一部抜粋)】

- ・DNARを聞くことが多いが実際には延命処置を望まれたりより具体的時期に応じた話し合いを重ねることが大切と学ぶ事ができました
- ・重要性と治療への関わりを考えさせられた
- ・ACPについて再確認したり、実際の認知度を知ることができ良かった
- ・完全な正解はないが必要であることが再認識できた
- ・人生100年これからゲーム買います
- ・ACPの実態を知れた、もっと意識してACPの話を患者にふっても良いのではないかと感じた
- ・ACPの知識が私自身少なかったのが良かったです
- ・ACPというのを早い段階から知っていた方が良いのかなと感じました
- ・ACPのアンケート結果、興味深かったです、続けて欲しい、とても勉強になりました

問2. 「ACPの実際：きっかけをつなぐ」について

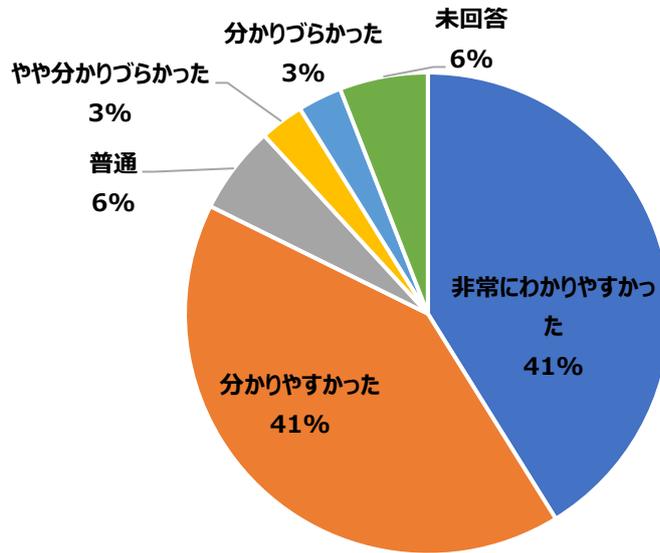


【感想(一部抜粋)】

- ・以前もしバナカードを購入しましたが、それよりも内容が具体的でACPの第1歩になると感じました
- ・気軽に話し合えるキッカケになり良いなと感じた
- ・楽しく意見交換できた、是非カードを活用したいと感じた
- ・とても楽しくできました！
- ・暗いイメージではなく楽しくディスカッションできました
- ・自分自身もこれからについて振り返ることができた
- ・様々な意見があり、いろんな視点があるのだと知ることができた、カードがあることを初めて知りました
- ・カードを利用することで、より具体的にイメージすることができました
- ・改めて自分の価値観を知ることができた
- ・1度皆さんで実施できると良いと感じた
- ・カードの数字が意見の多さだというのも後から知るとなるほどなと理解できた、よくできているカードです！
- ・大変面白かった、カードを活用していきたい
- ・自法人で看取りをしているので、研修としてやってみたいと思いました
- ・自分が何を大切にしているのかを楽しみながら考えることができた

問3. 「ACPの実際：最善を支える」について

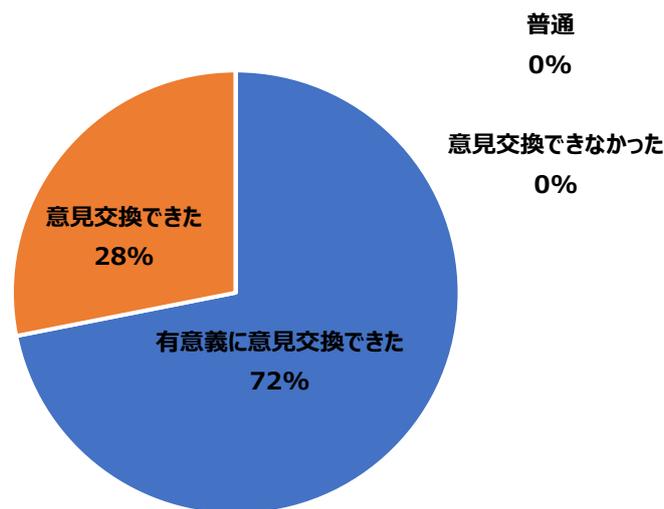
①在宅における多職種連携の実際について、講義の内容はいかがでしたか



【感想(一部抜粋)】

- ・かなり困難事例だったので検討が難しかったです
- ・難しい事例から考えることは大事と感じた(家族との関り、本人の意思の確認)
- ・事例をイメージできてわかりやすかったです
- ・早い介入が必要で、家族と本人の話し合いが必要であると感じました
- ・難しい事例ではありましたが、考えるきっかけを頂ける事例でした
- ・実際は難しいなあ・・・と思いました

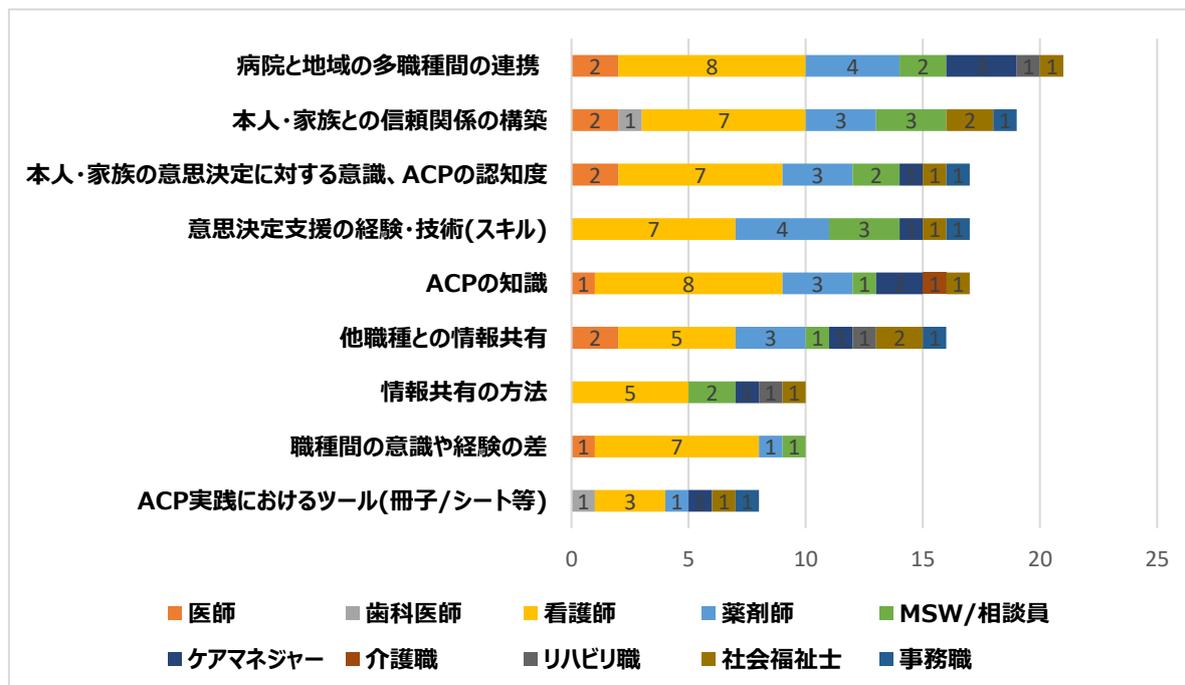
②「ACPの取り組み共有セッション」でのグループディスカッションについてご回答ください



【感想(一部抜粋)】

- ・時間が短かったです
- ・ちがう職種の意見が聞け参考になった
- ・たくさん意見が出た中で多職種の中でも重要視することは同じだなと感じた
- ・いろいろな部署の方のお話が聞けて良かったです
- ・各機関、職種によって考え方が異なるため、話し合いが必要であると感じた
- ・いろいろな立場の皆様の知見を伺うことが出来ました、ありがとうございました
- ・様々な視点の話を聞けて良かった
- ・久しぶりにグループワークをしました、楽しかったです
- ・色々な視点を知ることが出来た
- ・職種が違うため視点が違い、様々な意見を聞けて良かった

問4. あなたがACPを実践する上で課題と感じることはどのような事ですか(複数回答可)。



問5. 本研修会並びに今後の西区の研修会についてご要望をお聞かせください。

- ・非常に勉強になりました
- ・グループワーク形式の勉強会
- ・ACPとは死に方ではなく生き方なのだと感じました、ACPカード欲しいです
- ・在宅医療・介護に関する良い症例の共有(困難症例での取り組み例など)
- ・多職種が関わる機会が少ないため、今後も継続してほしい
- ・ACPの認知をあげていきたいので、また研修が行われるときには告知してほしいです(職場のACP認知度を上げたいです)
- ・初めての参加でしたが大変有意義な会でした
- ・ACP、BCPについて深められれば嬉しいです
- ・災害対策に関する研修が地域の多職種で行えると良いと思います
- ・適切なACPを行うためには、まず多職種で情報共有が必要だと感じました
- ・情報共有のあり方についての研修があると良いと思いました
- ・また参加したいです
- ・学び大きい、有意義な時間をありがとうございました